

平成28年1月4日

皆様あけましておめでとうございます。穏やかなお正月でしたがいかがお過ごしでしたでしょうか。

本日は2016年の札幌証券取引所の大発会を迎えるにあたり、齋藤財務局長をはじめ、後ほどご紹介いたしますご来賓の方々、関係者、会員証券会社、そして今日は関係会社の女性社員にも振袖姿でお越しいただきまして、まことにありがとうございました。

取引所の業務開始ですので、経済の堅苦しい話を先に少々いたします。今年の世界的经济につきましては、中東とか中国とかアメリカとか、たいへん



(小池理事長)

不安定な要因も予想されますので、若干の波乱があると思いますが、日本国内は、比較的には安定して推移するのではないかと多くの見方のございます。特に北海道につきましては、近年のインバウンド観光需要の効果とか、エネルギーコストの安定的な推移、そして今年の3月からは北海道新幹線が開通というイベントなど、内需を中心とした地場の企業は恩恵を受けるのではないかと予想されております。ただ最近のマーケットというのは何が起るのか

判らないので、気を引き締めていかないと、という面もごございます。

今日は、当取引所の理事でもあり、アインホールディングスの社長をしておられます大谷様のご尽力により、北海道日本ハムファイターズの田中賢介さんをゲストにお招きしております。皆様の斜め前に銀色の鐘がおいてあると思いますが、札幌証券取引所で今回新たに作りまして、この「打ち初め」をして頂こうとお招きしたわけです。

この取引所の「鐘」というのは、東京とかニューヨークでも、新たな取引の開始とか新しく企業が上場したときのセレモニーで使われております。残念ながら札幌の取引所にはこれまで無かったのですが、今回は特注で製作いたしました。これはもともと出港するときや時刻を知らせるときの、船の鐘に由来があると言われていますが、ニューヨークでは最初は銅鑼を使っていたということですが、後に鐘に切り替えたそうです。今日は札幌の大発会にあたって、この札幌証の新しい鐘をファイターズの田中選手に3回鳴らしていただくと思っております。

鐘が鳴るとどういうわけか、日本人は願い事をしたがるようですが、私個人としては、まず幸先



北海道日本ハムファイターズ 田中賢介選手  
「札幌証の鐘」打ち始め

「この鐘を打つ者は飛躍の年になるという伝説を作れるよう、まずは私が先頭打者でしっかりその責任を果たしていきたい」

の良い札幌証券取引所の取引が開始されること、また新たな上場企業が出てきてこの鐘を使ってセレモニーが行われること、三番目には、ぜひ今年こそ北海道日本ハムファイターズが優勝して北海道を元気付けて欲しいと、この3つの願いを鐘がなっている間にしようと思っています。皆さんもそれぞれ、願い事を考えておいて頂けたらと思います。

2016年の大発会にあたりまして、一言ご挨拶させていただきました、本年もよろしくお願ひします。



(手締め)